



こう ずけ だい
上野臺

第6号

発行日
H21.5.31

発行元
本多上野介正純公を学ぶ市民の会
〒013-8601
秋田県横手市中央町8-2
横手市横手地域局地域振興課内
TEL 0182-32-2701

※かつて本多上野介正純が横手で余生を過ごした高台が、現在も「上野台（こうずけだい）」と呼ばれている。

まさに錦上添花

宇都宮華遊園

く春く



晴れわたる青空、色艶やかな大和撫子、
そして… 白くそびえたつ宇都宮城

すっきりとした青空のもとで美しい女性がお茶を立て、さらに顔を見上げれば宇都宮城がそびえている。錦上に花を添えるようなものではありませんか。

三月二十九日、宇都宮城址公園を会場に「四季の華遊園」が華やかに開催されました。

宇都宮市では、城址公園を市民に親しまれる場所と位置づけ、春夏秋冬それぞれのイベントを企画しております。この度の遊園は、うららかな春の日差しの中、宇都宮の春を満喫できる趣向で、茶会や雅楽、和太鼓、野点など、花見の雰囲気盛り上げる演出や、趣向を凝らした模擬店が多数出店いたしました。



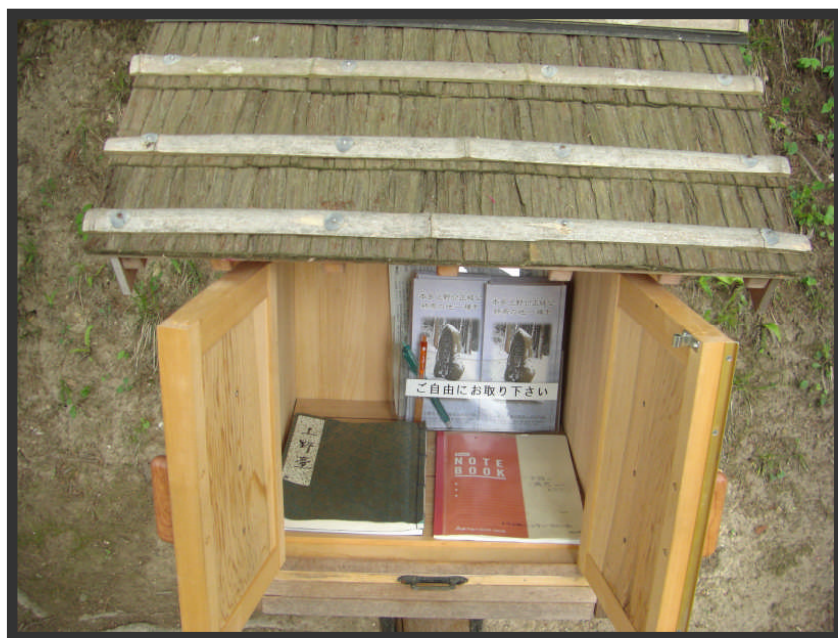
大観衆の前で佐川副会長語る

当会からは会員をはじめ計20名が参加しました。もちろん、横手やきそばや物産もしっかり売込みしてきました。前日には、よみがえれ！宇都宮市民の会の皆様から交流会にお招きいただき、親交を深めました。また、翌日の遊華園では、前日の宴の興奮が冷めやらぬ中、佐川副会長が大観衆の前で挨拶し、大役を果たされました。この度も、宇都宮市民の会の皆様より温かいおもてなしをいただき感謝申し上げます。



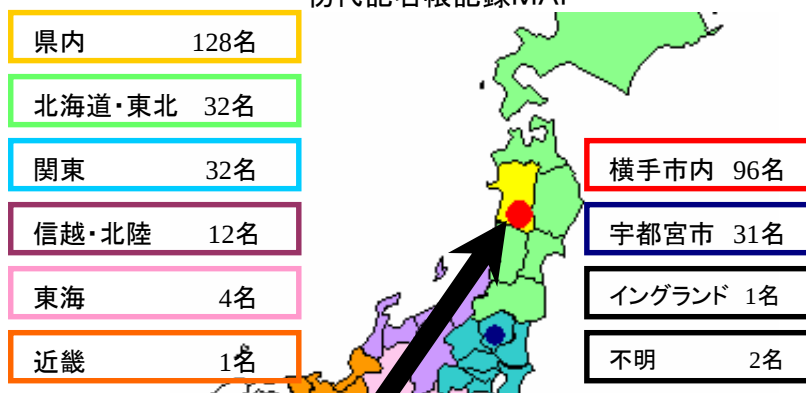
餃子に負けじと、横手やきそばPR！

ひとびとの想いを紡ぐ記名帳



平成18年4月15日、本多正純公を偲び訪れた方を迎えるために市民の会が設置した記載台。あれからはや3年。雨の日も、風の日もそして雪の日も訪問者を見続けてきました。設置当初の記名帳も先日最終頁まで記されました。その数、三三九名。何を想いこの地を訪れ、何を感じ次の地へ向かったのでしょうか。これからは、二代目の記名帳が新たな訪問者の足跡を記します。

初代記名帳記録MAP



合計 339名

地元の方や県内ゆかりの地の方、そして宇都宮の方はもちろんのこと、県外からも多数の方がこの地を訪れていることがわかります。歴史を大切に残していくことが、様々な方を惹きつけるものですね。なんと、遠くはイングランドから…。すごい惹きつけパワーです。

皆様も新緑の上野臺を堪能してはいかがでしょうか。

編集後記

このたび4月から事務局員の異動がございました。これまで、小玉幸平が皆様の活動の足跡を残しておりましたが、これからは高橋新一、糸井豪が務めさせていただきます。恥ずかしながらこれまで市民の会の皆様の活動について知りませんでした。総会資料や会報を作成するにあたり、これまでの会の活動を紐解いていくと正純公の歴史を辿る皆様の活動そのものが着実な会の歴史を刻んでいると感じました。微力ではございますが、背伸びをせず、しかし着実に皆様とともに会の歴史づくりの一助となります。これからどうぞよろしく願います。

(事務局 糸井 豪)